

試合番号 : 201	試合会場 : サントリー箕面トレーニングセンター体育館	観客数 : 0			
開始時間 : 13:05	終了時間 : 15:08	試合時間 : 02:03			
主審 : 山本 和良	副審 : 村中 伸				
サントリーサンバーズ	通算 15勝 2敗 ポイント : 43	22 第1セット 25	パナソニックパンサーズ	通算 15勝 4敗 ポイント : 43	
監督コメント 今日のようなハードな試合を勝ち切ることができ、さらにチームは自信をつけることができたと思います。序盤、相手のサーブに苦しめられたり、攻撃が上手いかなかつたりする場面もありました。しかし、選手たちが試合の中で修正し、改善することができ、それが今日の勝ちにつながったと思います。明日も間違いなく、難しいハードな試合になると思います。画面越しに声援くださったファンの皆様には感謝の気持ちを伝えたいと思います。明日も引き続きサンバーズに熱い声援よろしくお願いします。	3	38 第2セット 36	1	監督コメント たいへん良い試合でした。第1、第2セットは接戦で白熱した戦いでしたが、ムセルスキーに大事な場面でも得点され、私たちは必ず術がありました。明日も試合があるので、前を向いて全力で戦います。引き続き応援よろしくお願いします。	
		25 第3セット 16			
		25 第4セット 20			
		第5セット			
要約レポート 大阪ダービーとなったサントリーサンバーズとパナソニックパンサーズの激戦。パナソニックは序盤からクビアのサービスエースで流れを引き寄せ、さらにセンター山内が連取を要所で決め、第1セットを取る。中盤まで粘り合いが続いた第2セットは、サントリーがセンター塩田のブロックなどで終盤にリードを広げるも、パナソニックは清水のサービスエースで応戦しデュースに持ち込む。大接戦となったが、サントリーはムセルスキー、柳田の両スパイカーが、最後まで得点を量産しこのセットをもぎ取る。第3セットも勢いを止めることなく連取する。後がなくなったパナソニックは第3セットから起用されたセンター白澤がクイックを決め、追い上げを見せる。しかし、サントリーはセッター大宅が華麗なトスワークとリーダーシップを発揮し、チームの勢いを止めることなく、第4セットも連取し、ホームで勝利を収めた。					

試合番号 : 203	試合会場 : 岡谷市民総合体育館	観客数 : 420			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:39	試合時間 : 01:39			
主審 : 服部 篤史	副審 : 慈眼 雅啓				
VC長野トライデンツ	通算 3勝 16敗 ポイント : 11	22 第1セット 25	ウルフドッグス名古屋	通算 15勝 4敗 ポイント : 44	
監督コメント 先週に続きホームゲームでの連勝を伸ばしたかったが、相手の高さのある攻撃に力負けとなってしまいました。中盤から終盤にかけてのミスや決めきれない場面を修正して、明日は勝利できるような準備します。本日も熱い応援ありがとうございます。明日もホームでのご声援をよろしくお願いします。	0	23 第2セット 25	3	監督コメント 相手の強烈なディフェンスに大変苦しめられました。明日に向けて、今日の試合をしっかりと分析し、これから良い準備をしていきたいと思えます。明日も我々ウルフドッグス名古屋の良さをコート上で表現できるように頑張りますので、サポーターの皆さま、後押しをのほどよろしくお願いします。スポーツが世の中を明るくしていくことを信じていますが、それは安全・安心の中にあると思えます。皆さまにとって安全で安心できる生活がくることを祈るばかりです。Best Day Ever!	
		20 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート ホームゲームで連勝を続けたVC長野トライデンツと、現在リーグ2位に位置するウルフドッグス名古屋の対戦。第1セットは序盤から互いに攻撃を決め合う一進一退の緊迫した展開が14-14まで続く。WD名古屋・山田がサービスエースを決めると、流れがWD名古屋に傾く。VC長野は途中出場した池田(幸)のブロックから連続得点するも、最後はクレクのストレートへのスパイクが決まり、WD名古屋がセットを奪う。第2セットも緊迫した展開。高さの際立つクレクにボールを集め得点を重ねるWD名古屋と、多彩な攻撃で得点するVC長野。最後まで粘り強くボールに食らいつくVC長野であったが、WD名古屋は高梨のサービスエースで振り切った。第3セットも引き続き得点しあう展開。VC長野はレボ山本の好レシーブから逆転するも、WD名古屋はクレクのバックアタックで再逆転し、このセットを奪取。ストレートでWD名古屋が勝利した。					

試合番号 : 204	試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)	観客数 : 480			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:02	試合時間 : 02:02			
主審 : 戸川 太輔	副審 : 江下 毅				
JTサンダーズ広島	通算 9勝 10敗 ポイント : 30	25 第1セット 22	堺ブレイザーズ	通算 10勝 9敗 ポイント : 29	
監督コメント 後半戦はスタートから3連敗でしたが、今日の試合に勝利することができ、チームに勢いが出てきました。コート上で自分たちの仕事を熱くやってくれたと思います。コロナ禍の中、会場に足を運んでいただいた皆様、ありがとうございます。明日もチーム一丸となって戦います。	3	22 第2セット 25	1	監督コメント 今日の我々のプレーは、サーブをハードに打つことができたが、ミスも多かった。サイドアウトは良かったが、カウンターで決めきることができなかった。ジョンはとても良かったが、アウトサイドヒッターが決定率を上げなければ勝利は難しい。紙一重の戦いを勝ち切り、未来を我々の手で掴みとらなければならない。本日も熱い応援ありがとうございます。	
		25 第3セット 23			
		26 第4セット 24			
		第5セット			
要約レポート 第1セット、立ち上がりからJTサンダーズ広島はエドガーのアタックやサーブで得点しリードを奪う。堺ブレイザーズもジョンや出葉田の得点で対抗するが、JT広島は新井の得点などでリードを広げる。堺も鶴野や山崎のサービスエースなどで追い上げるが、JT広島がセットを先取した。第2セット、堺は立ち上がりにはジョンの連続ブロックなどでリードを奪う。JT広島もエドガーや新井の得点などで対抗し、白熱した展開で終盤まで進むが、最後は堺がジョンの得点で抜け出し、セットを奪い返した。第3セット、このセットも序盤から一進一退の攻防が続く。中盤、JT広島は小野寺やエドガーのアタックで抜け出すが、堺も樋口のブロックを利用した巧みな攻撃などで追い上げる。このセットも接戦となるが、最後はJT広島がエドガーの得点などで抜け出し、セットを奪った。第4セット、序盤はJT広島が小野寺やエドガーの得点などでリードを奪う。対する堺も攻撃的なサーブで相手の守備を崩しリズムを掴む。中盤、堺が樋口のアタックやジョンのブロックで抜け出すが、JT広島もエドガーのブロックで勢いに乗り同点に追いつく。デュースにもつれ込んだが、ラリーを制したJT広島がセットを奪い、ホームゲームでファンの声援を力に連敗を脱出した。					

試合番号 : 206	試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)	観客数 : 720			
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:19	試合時間 : 01:19			
主審 : 木内 誠二	副審 : 平田 敬基				
大分三好ヴァイセアドラー	通算 0勝 19敗 ポイント : 4	23 第1セット 25	ジェイテクトSTINGS	通算 11勝 8敗 ポイント : 30	
監督コメント ジェイテクトの効果的かつ強いサーブに対して受け身となってしまい、苦しい展開が多く出たゲームでした。リリフサーブの米田が何度も効果的なサーブで勢いを持ってきたが、20点以降のミスが多く、セットを取りきるまでに至りませんでした。ホームゲーム、沢山の声援ありがとうございました。明日は今日とは違う展開を生み出せるよう、しっかり準備したいと思います。	0	16 第2セット 25	3	監督コメント 年が明けてから連敗が続き、苦しい状況の中で今日の試合を迎えましたが、チーム全員が強い気持ちで臨み、自分たちのバレーをしっかりと出してくれました。また明日の試合に向けて準備し、いいプレーをお見せできるよう臨んでまいります。沢山の応援ありがとうございます。明日も引き続き、応援のほどよろしくお願いいたします。	
		17 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート ホームで初勝利をあげたい大分三好ヴァイセアドラーと、V・ファイナルステージ進出に向け勝利したいジェイテクトSTINGSの激戦。第1セット、ジェイテクトは西田のアタックを皮切りに、藤中やフェリベの得点によりリードを広げる。大分三好は山田やストックトンを中心に攻撃するが、中盤まで効果的な連続得点をあげることができない。終盤、大分三好は米田のサーブで勢いに乗り接戦となるが、最後はジェイテクトが粘り勝ちセットを先取する。第2セット、大分三好はミスが目立ち、なかなかリズムに乗ることができない。ジェイテクトは中盤の長いラリーをフェリベの攻撃でものにすると、中盤以降もフェリベにボールを集め得点を重ねる。鏡の効果的な攻撃もあり、ジェイテクトがセットを連取した。第3セット、前セットに引き続き、ジェイテクトのセッター久保山はフェリベを中心に攻撃を組み立てる。大分三好は山田やバグナス、ストックトンを中心に攻撃するが、徐々に調子を上げてきた西田のサーブとアタックが要所で決まり、このセットもジェイテクトが取った。ジェイテクトは本日21歳の誕生日を迎えた西田を勝利で祝うことができ、V・ファイナルステージ進出に向けて弾みをつけた。					